

「子育てと弟子訓練の5つの秘訣」 ～伴 走 力～

“5 Tips for Raising Children &
Discipleship:
Walking Together

使徒言行録
Acts 8:26～40

いのちの おはなし

日野原重明・文
村上康成・絵



1. いのち = 時間 *Life* = *Time*

- 人生の中で、子供が家にいるのは . . .
- 何に時間を割いているのか？



2. 人間関係は投資 (26～29節)

Building Relationship is an investment.

子供との時間をとる。

- 勉強の時間も、
関係を築く時間に。



テレビ、スマホ、携帯、ゲーム・・・

- 時間をとらないと、
「命とり」に。



3. 伴走力 (30～33節)

過干渉 vs 放任

Overprotective vs Neglect

- 手の貸し過ぎ？
- 口の出し過ぎ？
- 親切の不親切？
- 不親切の親切？

「お母さん、水筒のふたが開かない」と言ってくる子

- 「そう、それどれ。」とすぐに開けてあげる。
- 「もう一度やってごらん。」とやらせて、様子を見てから開けてあげる。
- 「もう一度やってごらん。」とやらせ、その様子を見てから、全部開けないで、「さあ、あとは自分でやってごらん。」と返す。
- 「自分のことは自分でやってね。」とその子に開けさせる。

3. 伴走力 (30～33節)

「良き聞き手」となること。

Be a good listener.

- アドバイスでなく、痛みを**分かち合う**。
いっしょに歩んであげること
- **コミュニケーションのチャンス**ととらえる。
指示、指導を並べ立てないこと。
- あまり言わない。あまり言くと、うるさがって、
話さなくなってしまう。

3. 伴走力 (30～33節)

怒る vs 叱る vs 話をする
Get mad vs Scold vs Talk

- ・ ガミガミ怒ると・・・

「父親たち、子供を怒らせてはなりません。
主がしつけ諭されるように、育てなさい。」
(エフェソ6:4)

3. 伴走力 (30～33節)

education = **「引き出す」**
education = **“draw out”**

コーチ “coach” … kocs (コーチ) という町
で作られた幌馬車 kocsi (コーチ)

「(愛は) すべてを忍び、すべてを信じ、
すべてを望み、すべてに耐える。」
(1 コリント13:7)

3. 伴走力 (30～33節)

上からでなく、共に歩む。伴走する。

Not from above, Walking beside them.

- 親のあやつり人形にならないように。
- 子供が悩んでいるとき、すべての答えをあげないこと。
- **ヒント**はあげても、子供に解決の糸口を発見してほしい。
- 励ましになるような自分の**失敗談**を話すことも。－いっしょに歩む。

4. しっかりと聖書を教える (34~38節) *Teach the Bible*

教えないと、わからない。(31節)

If you don't teach, they don't
know/understand.

- 「どうして言ってくれなかったの！」
- ローマ10:14~15
- ローマ10:17

5. いなくなっても大丈夫 (39～40節)

Sustainable even after you leave

- バプテスマのヨハネ - ヨハネ3:30
John the Baptist - John 3:30
- イエス様 - ヨハネ14:12、16:6～7
Jesus - John 14:12, 16:6-7